

## 身体トラブルを防ぐために



- 次のような医用電気機器や家庭用電気治療器の近くでは、絶対に使用しない。(医用電気機器や家庭用電気治療器の誤動作をまねき、身体に著しい障害をもたらすおそれ)

- ・ペースメーカーなどの体内植込み型医用電気機器
- ・人工心肺などの生命維持用医用電気機器
- ・心電計や点滴器などの装着型の医用電気機器

- 次のような人は使用しない。(事故や体調不良、けがの原因)

- ・心臓疾患など、心臓に異常のある人
- ・ペースメーカーなどの体内植込み型医用電気機器、人工心肺などの生命維持用医用電気機器、心電計や点滴器などの装着型の医用電気機器を使用している人
- ・金属アレルギーなどのアレルギー性疾患がある人
- ・顔面神経麻痺など、顔面の神経に障害のある人
- ・出血性疾患、血友病疾患などの血液異常の人
- ・歯を治療中の人
- ・18歳未満の未成年、および自分で意思表示のできない人
- ・交通事故などにより頭部に後遺症がある人
- ・痛みや温度の感覚が自覚できない人
- ・スプーンや食器を正常に握れない人
- ・妊娠中もしくは妊娠をしている可能性のある人
- ・過去に類似する電気機器などで具合が悪くなったことのある人

- 次のような場合は使用しない。(身体トラブルの原因)

- ・体調がすぐれない場合、疲労の激しい場合
- ・極度に体力を消耗した場合(大きな手術の術後、長期入院の退院後、産後など)
- ・飲酒や薬の服用などにより、正常な判断ができない状態である場合
- ・手や口内、口周辺に傷や湿しん、はれものなどの異常がある場合

- 人以外には使用しない。(事故やけがの原因)



- 次のような方は、医師に相談のうえ、使用する。  
(事故や体調不良の原因)

- ・今までに重い病気をした人
- ・急性疾患の人
- ・有熱性疾患の人
- ・感染症疾患の人
- ・悪性腫瘍(しゅよう)のある人
- ・糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害のある人

- 痛みや異常を感じたら、すぐに使用を中止する。痛みや異常が使用を中止しても継続するようなら、すぐに医師に相談する。(事故や身体トラブルの原因)